

令和3年度事業報告

(令和3年7月1日～令和4年6月30日)

公益財団法人 信友社

概況

令和3年7月より令和4年6月までの信友社の事業に関しましては昨年に引き続きコロナウイルスの影響下での活動となりました。

(公1) 関しましては新設の学校も含めて県内ほとんどの特別支援学校が信友社の助成金を活用され、生徒さん達の学習に効果をあげられております。

(公2) 関しましては、今年も熊本で活躍されている3個人1団体の信友社賞を贈呈することが出来ました。

(公3) 関しましては第4回目の「信友社ひまわり奨学生」奨学生を決定することが出来ました。4年目を迎えた中で奨学生に関する課題も出てきましたが、今後も児童養護施設にとって希望をつなぐ貴重な奨学生としての認識が定着してきたようです。

コロナ禍の状況下にありながらも、コロナウイルス対策を取りながら時にはズームを活用し、すべての事業を滞りなく行うことが出来ました事をご報告いたします。

公益事業内容

【身心的負担を持つ児童生徒等に対する奨学支援事業】(公1)

令和3年度は、県内の特別支援学校20校に合計4,049,044円を信友社助成金として助成した。

[令和3年7月～10月助成実行]

- ・熊本県立熊本聾学校：大学入試や就職試験に役立てるため電子辞書給付として110,000円
- ・熊本県立熊本はばたき高等支援学校：読書習慣の形成や豊かな情操を育むために図書館図書等の購入費用として200,000円
- ・熊本県立熊本支援学校：知的障がいのある生徒に様々な体験活動を経験してもらうためにメッシュトンネル、学校用三尺筆セットの購入費用として250,000円
- ・熊本市立平成さくら支援学校：タブレット端末を用いた授業が可能となり教師用のタブレットから大型テレビ等に映すアップルTVの購入費用として200,000円
- ・熊本県立盲学校体育文化活動振興会：クラブ活動で使用するマット、ビッグファンの購入費用として100,000円

- ・熊本大学教育学部附属特別支援学校：姿勢保持のためのチアマット、書画等で手元を写す書画カメラやタブレットスタンドの購入費用として 297,836 円
- ・熊本市立あおば支援学校：学校での祭りや地域の活動に参加するときに着用する半纏の購入費用として 200,000 円
- ・熊本県立荒尾支援学校：重度障がい学級で使用する教具や教材等の購入費用として 250,000 円
- ・熊本県立かもと稻田支援学校：開校して間もなく体育や美術の授業で使用する教材や用具が不足している状況であるためサッカーボールやマーブリングの購入費用として 115,208 円
- ・熊本県立松橋東支援学校：図書室の充実化を図るため図書の購入費用として 150,000 円
- ・熊本県立芦北支援学校：図書の蔵書数が少ないため児童の言語活動や表現の表出に繋げるため図書の購入とダンス大会の衣装の購入費用として 200,000 円
- ・八代市立八代支援学校：子供たちが自立に向けた取り組みをするなかで楽しみながら学習に取り組むためにリングアラウドベルという楽器や自転車の購入費用として 200,000 円
- ・熊本県立黒石原支援学校：五線譜の読譜が苦手な生徒でも手軽に簡単な旋律作りができる DVD ディスク（ボーカロイド教育版）7 ライセンス購入費用 176,000 円
- ・熊本県立菊池支援学校：体育の授業を充実させて子供にスポーツの楽しみを感じてもらうためにポッチャボール等の購入費用として 250,000 円
- ・熊本県立ひのくに高等支援学校：音楽同好会発足に伴い、太鼓の練習を始めたので太鼓の購入費用として 250,000 円
- ・熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校：体力向上、健康促進のため陸上競技大会に出場するためのユニフォームや運動同好会で使用する用具等の購入費用として 250,000 円
- ・熊本県立大津支援学校：体育の授業で使用する運動器具や遊具が不足しているので跳び箱やラボ三輪車の購入費用として 250,000 円
- ・熊本県立小国支援学校：文化部、運動部で使用する裁縫用具セットやヘルメット、グローブ等の購入費用として 200,000 円
- ・熊本県立天草支援学校：iPad を活用した学習活動の充実を図るため、Bluetooth スピーカー等の購入費用として 250,000 円
- ・熊本県立球磨支援学校：学校行事の活動風景や学習の様子を撮影するためにデジタル一眼レフカメラ等の購入費用として 200,000 円

【 学術・文化・体育等の振興に寄与する個人または団体に対する顕彰および助成事業 】(公2)

令和3年度は、3個人1団体に対し各活動についての顕彰状並びに助成金30万円、合計120万円を信友社賞として贈呈した。

[個人]

- ・小西 たくま：舞台、イベント等の演出家・プロデューサー。芸術団体・芸術家の育成と文化振興に貢献
- ・富田 紘一：考古学者と熊本城や城下町についての研究・執筆・講演を通じて郷土歴史の普及と啓発活動に寄与
- ・吉丸 良治：国の伝統的工芸品指定への活動と「永青文庫」常設展示に尽力。講演・企画・書籍など歴史文化継承と文化発展に功績

[団体]

- ・しもうら弁天会：「下浦弁天石切丁場」遺跡整備、「天草土人形」制作・販売等の活動を通して下浦町の伝統工芸、地域づくりに貢献

【 熊本県内の児童養護施設等に在籍する生徒が進学した大学等における学資等支援のための奨学金給付事業 】 (公3)

令和3年度は、第1期奨学生1名、第3期奨学生5名、第4期奨学生3名に合計7,490,320円を信友社ひまわり奨学金として給付した。

- ・令和3年7月～令和4年3月：第1期・第3期奨学生に令和3年度奨学金給付を実施。3ヶ月に1度程度、生活状況報告の面談を実施
- ・令和3年7月：熊本県内の児童養護施設へ新規募集案内を送付
- ・令和3年9月：新規応募者と面談、選考委員会にて新規奨学生候補者を決定
- ・令和3年9月：選考委員会より理事会へ新規候補者決定を報告、理事会承認
- ・令和3年10月：第1期・第3期奨学生へ継続募集案内を送付
- ・令和4年2月：理事会にて第1期・3期奨学生の継続採用・奨学金額決定、第3期奨学生1名の継続取消決定、第4期奨学生の新規採用・奨学金額決定、奨学生認定式を開催
- ・令和4年4月：理事会にて、第3期奨生生1名の継続不採用を決定
- ・令和4年3月～令和4年6月：第1期・第3期、4期奨学生に令和4年度奨学金給付を実施